



HONDA

2023-2024 | 会社案内

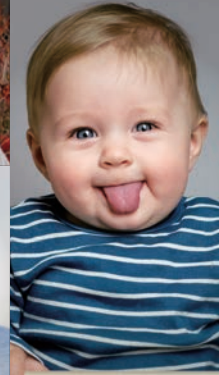
The Power of Dreams





その人の喜んでくれた
姿を見ることが
自分の喜びなんですね。

本田 宗一郎





戦後すぐ、人々の移動手段だった自転車に
エンジンを付けることを思いついた本田宗一郎。
毎日遠くまで、苦勞して買い出しに行く妻を思い
開発した自転車用のエンジンは評判となり、
またたく間に世の中に広がっていきました。

これができたら、みんながもっと喜ぶだろうな。

小さなエンジンにこめられていたその想いは
今につながり、これからもつながっていきます。

人の気持ちを研究する。

Hondaのモノづくりの原点は

「人の気持ちを研究すること」にあります。

人はどんなものを好きになるか、何を求めているかを知るために徹底的に考える。

データや言葉で表現しきれない感覚的なところまで突きつめ、今までなかった新しい視点や価値を見つけるまでとことん議論する。

そうして生まれてくる発想やアイデアを形にして、喜ばれる製品をつくり続けていきます。



“チャレンジある失敗”の意味とは？
「失敗は教訓。原因が違えば、何回したっていいんだ」。
本田宗一郎がことあるごとに語っていたのは、
失敗から得た知恵や技術こそが、
新しい価値を生み出すきっかけに
つながるということ。
今も受け継がれるこの言葉とともに、
失敗を恐れず、とことんチャレンジするという
Hondaのモノづくりの気質が培われてきました。



Engineering | 生産



白い作業服にこめた想い。

Hondaの研究所や製作所では「良い製品はきれいな職場から生まれる」、そんな考え方からあえて汚れの目立つ白い作業服を着ています。

また「Hondaで働く人は皆平等」という意味で社長も同じ白い作業服を着ます。

日本だけでなく、世界中のHondaで着用されているこの白い作業服はお客様に質の高い製品を提供したいというHondaの想いの表れです。



製品の傷がつかないようにボタンもおんなじ仕様

タイ四輪車工場の量産車組立ライン

みんなの
“たったひとつ”をつくりたい。

送り出す製品の一台一台が、
お客様にとって特別な存在になる。
たくさんの“たったひとつ”を
できるだけ早く、より高い品質で、大切につくりたい。
そのために、常に最適な生産ラインを考え、
働く人がいきいきと取り組めるように工夫する。
みんなに長く愛される一台を届けたいという想いで、
製品をつくり続けています。



手渡した夢の つづきが始まります。

多くの人が夢をこめてつくった商品をお客様へお届けするのが販売の仕事。でも、喜びを分かち合いたい想いに終わりはありません。お客様の暮らしに商品が寄り添い、一緒に重ねていく時間がもっと豊かになるようお手伝いができたら。手渡した瞬間から、新しい夢が始まります。



修理とは、お客様の心も直すこと。
その地域に一台しかない消防車を修理し、住民の方から喜ばれた若き日の本田宗一郎。「修理とは機械だけ直してもだめで、不安になっているお客様の心も直してあげてこそなんだ」と気づきます。人の気持ちに寄り添うことが信頼につながる。この考え方は、Hondaの販売やサービスの現場に息づいています。



1948

本田技研工業株式会社
浜松で創立



1953

汎用事業開始



1954

マン島TTレース出場宣言
1961年に初優勝



1958

スーパーカブ発売



1959

初の海外現地法人を
アメリカに設立



1962

日本初の本格的な国際
コース鈴鹿サーキット完成



1963

初の海外現地生産を
ベルギーで開始



1963 四輪進出



1964

F1 初出場
翌年 初優勝を達成



1970

安全運転普及本部 設立



1972

低公害CVCCエンジン発表
アメリカのマスキー法を
世界で初めてクリア



1981

世界初の
カーナビシステム発売



1982

アメリカで日本メーカー初の
四輪車現地生産を開始



1982

アメリカで日本メーカー初の
四輪車現地生産を開始



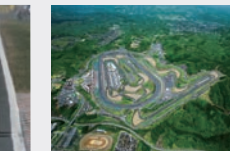
1988

F1 史上初の16戦15勝



1997

ツインリンクもてぎ完成



2000

人間型ロボット
ASIMO発表



2002

燃料電池自動車FCXを
世界で初めてリース販売



2002

フィットが国内年間登録車
販売台数1位を獲得
Hondaで初



2005

世界初 二輪車用
エアバッグシステムを開発



2011

被災地域の移動支援を
目的としてインターナビの
通行実績情報マップ公開



2013

埼玉製作所 寄居工場
Hondaの世界のマザー
工場として稼働開始



2014

安全運転支援システム
Honda SENSING 発表



2014

二輪車の世界生産
累計3億台を達成



2015

HondaJet 引き渡し開始



2016

四輪車の世界生産
累計1億台を達成



2017

スーパーカブシリーズ
世界生産累計1億台を達成



2020

新型電気自動車
Honda e を発売



2020

WGP800勝
二輪のロードレース史上初



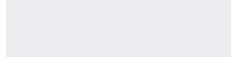
2021

世界初 自動運転レベル3対応
レジェンドを発売



2022

モータースポーツ事業を担う
ホンダ・レーシングが
技術支援を行うオラクル・
レッドブル・レーシング
F1ダブルタイトルを獲得



PRODUCTS



すべての人の「移動」と「暮らし」に
新しい喜びを。



Aircraft and Aircraft Engines ■



Motorcycles ■



Automobiles ■



Power Products ■

Motor Sports | モータースポーツ



F1™

未来に勝つために。

なぜレースに挑戦するのか。それは、過酷なレースの中でこそ、技術が、情熱が磨きあげられると信じているから。

本田宗一郎が「レースは、走る実験室」という言葉を残しているように。

これまで、これからも決して変わることのないHondaのDNA。

走ることで、勝負することで、

勝利にこだわることで未来を切り拓いていく。

Hondaは、これからも挑戦し続けます。



MotoGP™

観て、参加して、モビリティの楽しさをみんなに。

世界の最高峰に挑むと同時に、モータースポーツファンの裾野を広げる取り組みにも力を入れてきたHonda。一般のお客様が参加できるレースイベントを「鈴鹿サーキット」や「モビリティリゾートもてぎ」で開催するなど、多彩な体験型コンテンツを通してモビリティの楽しさを伝えています。



N-ONE OWNER'S CUP



TrialGP



DAKAR RALLY



MXGP

みんなの笑顔が、Hondaの夢。

自分たちのアイデアや技術を使って、

みんなに喜んでもらいたい。

その想いは、製品やサービスの枠を超えて、

さまざまな活動となって広がってきました。

子どもたちの笑顔。乗り物の楽しさ。安心して暮らせる毎日。

次の世代に手渡していきたいものがたくさんあるから、

今日も世界中でHondaの活動が続いています。

素足で歩ける砂浜を次世代へ。
大きなゴミは人の手で、砂の中の細かいゴミは
独自開発したビーチクリーナーで。
みるみるきれいになっていく砂浜にも、
技術で人の役に立てる喜びがあります。
各地で展開しているビーチクリーン活動の
中心にあるのはいつも、人を想う気持ちです。



会社概要

社名
本田技研工業株式会社

本社
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL. 03-3423-1111(代表)

設立
1948年(昭和23年)9月24日

代表者
取締役
代表執行役社長
三部敏宏

主要製品
二輪車、四輪車、パワープロダクツ

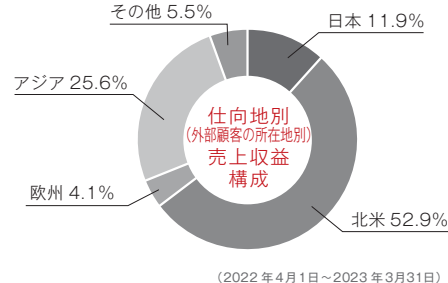
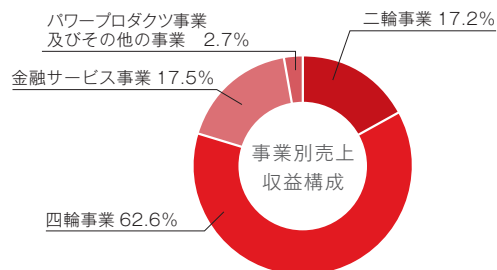
資本金
 **860億円**
(2023年3月31日現在)

従業員数
 連結 **197,039名**
 単独 **33,065名**
(2023年3月31日現在)

Honda グループ会社：
国内外 382 社の関係会社
313社 + 69社
連結子会社 持分法適用会社
 **382社**
(2023年3月31日現在)

連結業績

売上収益 **16兆9,077億円**
営業利益 **8,393億円**

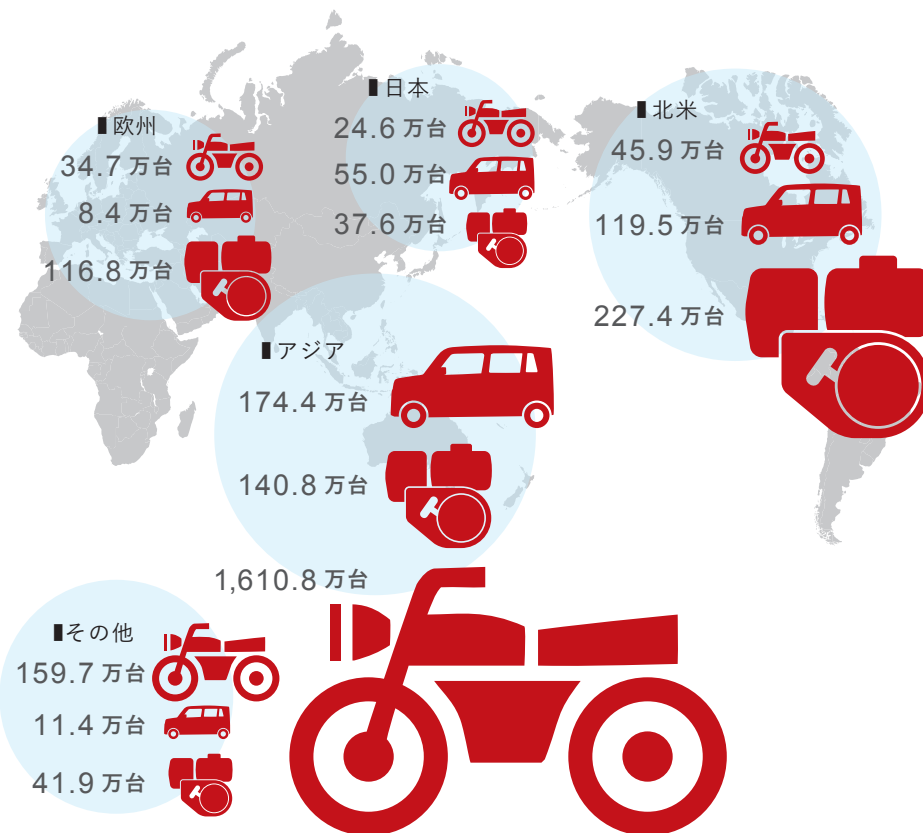


(2022年4月1日～2023年3月31日)

世界中のお客様との出会いは、年間2,800万人を超えて。

世界販売実績

全世界累計台数
 1,875.7万台 +  368.7万台 +  564.5万台 = **2,808.9万台**
二輪 四輪 パワープロダクツ



(2022年4月1日～2023年3月31日)

The Power of Dreams



<https://www.honda.co.jp/guide/>

